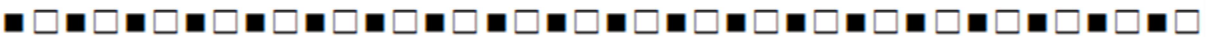


令和8年度 ひばの樹大学第3回学習会 ☆ 事業報告 ☆

日 時 令和8年9月11日（金）
場 所 金木公民館 1階 大小会議室
講 師 青森県立つくしが丘病院
認知症看護認定看護師 加藤 猛雄 氏
演 題 「今日からできる！認知症への理解と対応」
参加人数 29人



今回来られた加藤講師が、認知症看護認定看護師になったきっかけは、子どものころ、認知症の祖母の対応をしたことがきっかけだったとのことで、認知症は特別な病気ではなく、身近なこととして一緒に考えましょうというお話でした。

認知症とは、思考や記憶などの認知機能が持続的に低下し、日常生活や社会に支障をきたすようになった状態のことを言いますが、健常者と認知症の中間にあたる認知症予備軍（MCI＝軽度認知障害）の状態であれば、治療薬を服用することにより、MCIの原因として最も多いと考えられているアルツハイマー病の進行を遅らせることが期待されているそうです。また、認知機能低下を予防するためには、身体を動かす、バランスの良い食事をする、社会参加、健康管理をすることなどがとても大事なことだそうです。

そして、何よりも私たちに必要なことは、認知症を持つ人を一人の“人”として尊重し、その人の立場に立つて行う認知症ケア（＝パーソン・センタード・ケア）が大事だということでした。受講生も身近な問題として興味深く、熱心に講師のお話を聴いていました。

